

D-project

一般社団法人デジタル表現研究会



<http://www.d-project.jp>



D-project 設立主旨

設立の主旨

D-project(デジタル表現研究会)は、「デジタル(Digital)」「デザイン(Design)」の2つの『D』をキーワードに、ICT にふりまわされることなく、子どもの学びをみつめて授業をデザインしているという姿を提案したいという願いから2002年4月に発足。全国の小・中・高校の教師と大学の研究者を中心に、プロジェクト形式でさまざまなテーマに取り組んできました。そこで明らかになったのは、情報教育は子どもたちの発想力や企画力、表現力といった「豊かな学力」の育成に有効だということです。

昨今、学力低下の危機を受け学校教育界では、基礎・基本の徹底が叫ばれていますが、自分の考えを相手に伝える「豊かな学力」「考える力」の低下も深刻な問題ではないでしょうか。「伝えたいという切実感」や「この学習が何に役立つのか」という意味づけ、動機づけの不足が学習意欲の低下にもつながっていると考えます。

2006年度からスタートしたD-project2は、「豊かな学力」と「メディア表現」を結びつける「メディア創造力」というキーワードを、今後の活動の柱にしていきたいと考えています。「メディア創造力」とは、「表現学習を通して、自分なりの発想や創造性、柔軟な思考を働かせながら自己を見つめ、切り拓いていく力」と定義しています。「メディア創造力」の育成という新たな視点で授業作りを考え、基礎・基礎の徹底に結びつく実践を提供しながら、日本の学校教育界に根強い「キチンと文化」に問題提起していきたいと考えています。

そして2008年4月、D-projectは有限責任中間法人として法人化、更に2009年5月には一般社団法人デジタル表現研究会として新たにスタートを切っています。

活動の目的

D-projectは、デジタル表現活動と授業デザインをキーワードに、子ども達のメディア創造力を育てる授業のあり方を探求することを目的とし、次の活動を行います。

1. メディア創造力を高める授業プランの企画
2. 模擬授業等のワークショップの開催
3. 全国の教師及び研究者との情報の共有
4. これらの事業に関連する活動
5. 産学協同で最新の環境づくりを追究



D-project 概要

- 正式名称： 一般社団法人デジタル表現研究会

- 設立年月日： 2002年4月 デジタル表現研究会 発足
2008年4月1日 法人化
有限責任中間法人デジタル表現研究会 設立
2009年5月31日 会社法人法に基づき法人格移行
一般社団法人デジタル表現研究会 に登記変更

- 事務局所在地：〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-11
放送大学 中川研究室内 D-project 事務局
URL：<http://www.d-project.jp/>

- 連絡先：〒121-0814 東京都足立区六月 1-36-10
D-project 事務局 村田直江
TEL：090-3901-0771 / Email：murattle@hotmail.co.jp

- 会長：中川 一史（放送大学 教授）

- 会員数： 約 600 人(ML 登録者数>教育委員会関係者が1割以上を占める)

- 会員規定と入会費：
 - ・個人会員 情報教育に関わる個人および個人資格での参加者
教員・教育委員会・教育学部等の研究者、学生など
年会費 無料
 - ・賛助会員 情報教育に関わる会社組織またはその組織に属する参加者
年会費 一口 100,000 円



D-project の主な活動

■実践研究活動

「メディア創造力」を育てる新たな授業プランを開発し、広く情報発信していきます。国語・美術・図工・総合的な学習・情報など幅広い教科を対象に、授業開発と成果検証まで行います。

■D-project ワークショップ

D-project では、全国各地の教育団体や教育委員会等へ、D-project からの派遣教師やノウハウを提供しながらワークショップを行っています。「単なる技術取得研修に終わらない」「授業を想定した受講者参加型」のいわゆる子どもの視点で模擬授業を体験していただくワークショップが好評を得ています。

これまでに 100 以上の地域や団体からのオファーがあり、D-project 式研修のあり方を広げています。また、D-project から講師を派遣しなくても地域で研修ができるように、D-project サイトからワークショップ研修用パッケージの申し込みができるようになっています。

■web・公開研究会・メーリングリスト・機関誌発行

D-project では、例年春に公開研究会を行っています。地域研究会も企業と連携しています。

※地域支部

北海道支部・関東支部・茨城支部・東海支部・金沢支部・関西支部・香川支部・高知支部・松山支部・山陰支部・熊本支部・沖縄支部

また、Web サイトやメールマガジンで活動の最新情報を提供するとともに、現在約 600 人が参加しているメーリングリストで情報共有も行っています。

機関誌の発行は、年に2回、7月・3月ごろに発行しています。

D-project はなぜ start したのか？

D-project の D は「デジタル(Digital)」「デザイン(Design)」の 2 つの D をあらわしています。学校や家庭にどんどんコンピュータやインターネットが入ってきている現在、授業でもこれまで以上に、それらに代表されるようなデジタルメディアへの関わりが求められます。しかし、肩ひじはってコンピュータをばりばり使ったから良い授業になるというものでもありません。D-project では、コンピュータやソフトにふりまわされることなく、子どもの学びをみつめて、授業をデザインしていこうとする姿を提案したいという願いから発足しました。さらに、デザインというキーワードにふさわしく、図工や美術での取り組みにも積極的にチャレンジしていきたいと思えます。

D-project の Mission とは何か？

D-project では、以下の 3 つのキーワードをもとに、情報教育の実践研究や普及を進めていきます。



【深める】

デジタル表現について、どんな授業例があるのか、子どもの学びにどのようにむすびつくのか、その時の教師のふるまいをどうすれば良いのか、ソフトは何をどのように活用すれば良いのか、を追究していきます。

【広める】

情報教育初心者に向けて、簡単に実践できるアイデアやテンプレート、ワークシートも D-project のホームページ上で紹介していく。Q&A や期間限定のテーマ討論なども掲示板を使って参加できるようにしていきます。

【まとめる】

D-project では、中心メンバーによる実践の紹介等について、セミナー等のイベントや学会での発表をしたり書籍を発行したりして、成果をまとめていきます。どこで何をどのようにまとめるか、については、随時情報をアップしていく予定です。

D-project の精鋭 Member は？

全国の 40 人の小、中、高の精鋭の実践者と大学に属する研究員がワーキングチームを作り、実践研究、テーマプロジェクトの推進、書籍の発行、イベント等での発表、そしてこの HP の企画・制作にかかわっています。また、多くの企業がオブザーバーとして加わっています。まさに産学の融合がこの D-project なのです。

シンボルマークについて

ぴったりと寄り添い、情報教育の未来に向かって笑顔を向ける、2 つの D。小文字の「d」は生徒の姿を、大文字の「D」は先生の姿をイメージしています。情報教育に欠かせない人間性豊かな教育観をあらわすために、手描きタッチのフォルムを活かし、本プロジェクトの温かな体温を感じてもらえるように造形しました。彼らの名前は、ディジーとデジー。デジタル&デザインの世界を道案内する名コンビ、といった役どころです。ディジーとデジーは、今後 D-project 活動のさまざまな場面で、皆さまにお会いします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



D-project 構成

会長： 中川 一史(放送大学)

事務局長： 北川久一郎

副会長：中橋 雄(日本大学)、山中 昭岳(さとえ学園小学校)、豊田 充崇(和歌山大学)、前田 康裕(熊本大学)、佐藤 幸江(放送大学)、山本 直樹(関西大学初等部)、小林祐紀(茨城大学)岩崎 有朋(札幌国際大学)

顧問：水谷 浩三(暁学園暁幼稚園)

プロジェクトリーダー：
清水 和久(金沢星稜大学)
米田謙三(早稲田摂陵高校)
石田 年保(松山市立堀江小学校)
菊地 寛(浜松市立大瀬小学校)
郡司 竜平(北海道名寄市立大学)
稲田 健実(福島県立相馬支援学校)
栄利 滋人(仙台市立国見小学校)
小川 裕也(東京学芸大学附属大泉小学校)
増井 泰弘(丸亀市立飯山北小学校)
山中 昭岳(さとえ学園小学校／副会長兼務)
中村 純一(佐賀龍谷学園龍谷中学校)
佐和 伸明(柏市立大津ヶ丘小学校)
佐藤 幸江(放送大学／副会長兼務)

事務局： 村田 直江 (D-project 事務局)

D-project 賛助会員申し込みについて

■賛助会員

D-project では D-project の活動に賛同し、様々な活動場面での支援をいただける協力企業・協力団体を募集しております。

■年会費

年会費 100,000 円(一口)

※原則として4月から3月までの年度会費となります。



■賛助会員のメリット

- ・ D-project の Web サイト表紙ページに貴団体・貴社名を掲載
(貴団体・貴社のページへリンクをします)
- ・ 年間約 1700000 ページビューの D-project Web サイトに貴団体・貴社の新着情報を掲載(1 会員/年 2 回まで)

- ・ D-project メールリスト(ML)での情報配信(1 会員/年 2 回まで)
- ・ D-project 機関紙「D-PRESS」で貴団体・貴社の新着情報を掲載(年 2 回発行)

- ・ 年に 1 回開催される予定の「全国春の公開研究会」での無料ブース出展

■賛助会員入会方法

- ① 「入会申込書」を D-project 事務局に送付
- ② 理事による承認
- ③ 入会通知と請求書の送付
- ④ 会費の入金確認
- ⑤ ML への登録と通知、Web への掲載
- ⑥ 事務局より各種ご案内



D-project 賛助会員 入会申込書

年 月 日

貴会の目的に賛同し、下記の通り賛助会員として入会を申し込みます。

申込数 _____ 口

申込者(ご担当者は2名までの登録とさせていただきます)

ふりがな 会社名		印
業種		
住所	〒	
部署名		
役職名		
ふりがな 氏名		
TEL		
FAX		
E-mail		

上記に必要事項をご記入いただき、捺印の上 D-project 事務局にお送りください。

※E-mail での PDF 添付でも受付いたします。

申込書確認後、入会通知と請求書の送付をさせていただきます。

【お問合せ／申込書送付先】

D-project 事務局 (担当:村田直江)

E-mail:murattle@hotmail.co.jp TEL:090-3901-0771

〒121-0814 東京都足立区六月 1-36-10